

# 平成31年4月1日 神奈川ブロック合同新入職式

(於: Hotel Plumm 横浜)

## 2019.4.1 新入職者を迎え 高木啓吾理事長祝辞

このたびは、ご入職おめでとうございます。

厳しい審査に合格してこられた皆さんに、心から祝福を申し上げますと共に、この人事選考に関係された職員に深謝いたします。そして、皆さんをこれまで支えてきてくださったご両親様はじめご家族の皆様にも、感謝申し上げます。

「あなたは今、幸せですか？」と尋ねられた時に、この日を迎えた君達は「幸せです」と全員が直ちに答えるでしょう。同じ質問を、朝日新聞から一般人に向けて昨年アンケート調査を行ったところ、85%が「幸せです」と答え、また幸せのために必要なものとしては第1に「健康」を挙げました。君達はこの「健康」をサポートするプロとして、注目される場に立っています。やりがいのある仕事を選びました。どれだけの「幸せ」を今後届けられるかは、君自身の力とそれをバックアップする組織の力に左右されます。

2週間ほど前にマリナーズのイチロー選手の引退報道がありました。

野球人生28年間を振り返り、彼は多くのことを語っていますが、私は彼の人生哲学に大変興味を持ち、私も参考にしていたところがありましたので、活用できる言葉をご紹介します。簡単な事と思うのですが、実行するのは容易なことではありません。

①まず事始めに、「自分が熱中できるもの、夢中になれるものを早く見つけてほしい。エネルギーのある時にそれに立ち向かってチャレンジしていくことは、重要です。」

⇒⇒⇒君達は、医療の現場に入り、病める患者さんを支援する役割を演じます。夢中になってチャレンジしてみてください。患者さんからは多くのものがみえてきます。

②そしてイチローは、「自分の限界を見ながらそれをちょっと超えていくことを毎日繰り返していくと言います。自分ができていることを、やりたいことを重ねているので我慢してやっているという感覚がないのです」

⇒⇒⇒私も医療を我慢してやっていることは無く、日々の経験からその奥深

さを感じています。

③またイチローは、「野球はチームが勝てば良いということだけではなく、個人として結果を残さないと、生きていくことはできない」と言います。

⇒⇒⇒医療でも同様に、医療チームの成績のみならず各個人も評価されています。

④そしてイチローは、「最後に人に喜んでもらえることが自分の一番の喜びに変わってきた。」と言います。

⇒⇒⇒元気になった患者さんから「ありがとう」と感謝される事が、君達の心を豊かにし、そして組織をさらに成長させる原動力となります。

私たち医療人は、ひとの命をあずかるプロフェッショナルとして適正な医療と精一杯の支援を施さなくてはなりません。働き方改革の施行とはいえ、ときには時間とは無関係に動かなくてはならないこともあります。これからは患者さんを見つめながら、嬉しいことも、悲しいことも、さまざまな経験をする事でしょう。このような経験が自己の成長に結びつきますから、絶え間のない歩みが必要です。

このたび、皆さんに与えられた新たな職場で、チャレンジしながら毎日が新鮮でワクワクする日々と一緒に創造していきましょう。君達の活躍に期待しています。

以上、簡単ですが、入職式理事長祝辞とします。

このたびのご入職おめでとうございます。